

小学校2年生
生活科
「みんなでつかうまちのしせつ」
「もつとなかよしまちたんけん」
《教科書》
新しい生活 下:p58~67、68~79

1. 『ねらい』

- ・身近な公共施設を利用し、公共施設やそこにある公共物は、みんなで使うものであることやそれらを支えている人々がいることが分かる。また、それらを大切に使用したり、安全に気をつけて正しく利用したりすることができる。
- ・さまざまな人が使う公共施設にある工夫(やさしさ)を見つけ、どのような人がそのやさしさを必要としているかを知ることができる。そして、公共施設に誰もが使いやすくなるよう工夫があることが分かる。
- ・文化の森が博物館であることや、そこで働く人々の仕事を知ること、身近にある公共施設の役割を知り、親しみを持つことができる。

2:児童の持ち物	筆記用具、探検バッグ
----------	------------

6:必要な人員の目安	学習係、学芸係、ボランティア
------------	----------------

3:人数	4:活動月	5:活動時間
約70名/1日あたり	通年	半日(9:00頃~12:00頃)

7. 学習内容

事前の学習
・町たんけんのマナーを聞いている。
・文化の森について、知りたいことや質問したいことを考える。…など

事後の学習
・学校の近くの家のまわりをたんけんする。
・他の公共施設の使い方や工夫を知る。
・調べたことをまとめる。…など

時間	活動内容	場所	先生(T1)	学習係(T2)	学芸係(T3)	ボランティア(T4)
10分間	◆文化の森到着 ◆始めの会 ・学芸員・学習支援ボランティア・学習係の自己紹介・先生の話	正面玄関 エントランスホール	・安全確保 ・司会補助 ・学習のめあて	・自己紹介 ・注意事項	・自己紹介	・自己紹介
20分間	◆活動A:文化の森(公共施設)は、どんなところ? ・文化の森がどんな施設か、どんな人が利用するのか知る。 ・働く人に話を聞く。 ・質疑応答	緑のホール(研修室)	活動AB ・ねらいの確認 ・活動の進行 ・整列、グループ分け、移動の指示 ・声かけ	動AB ・博物館の役割や働く人についての話 ・活動支援	活動A ・博物館の役割や学芸員の仕事についての話	動AB ・活動支援
90分間	◆活動B:文化の森の工夫みつけ ※ ・施設内の工夫(やさしさ)みつけを各グループで行う。 (調べる場所:正面玄関、総合案内、エレベーター、階段、多目的トイレ、自動販売機、思いやり駐車場など) ・見つけた工夫について、交流しながら確認していく。	エントランスホール				
10分間	◆終わりの会 ・はじめの言葉・児童の感想・学習の振り返り・先生の話	エントランスホール	・司会補助 ・学習のまとめ	・感想	・感想	・学習の振り返り
	◆文化の森出発	正面玄関	・安全確保			

8. 安全面への配慮

・施設内での見学は、来館者の妨げにならないよう配慮する。※

10. 備考

・トイレ休憩は、随時行います。
・どのような「工夫」(やさしさ)を調べるかについては、先生と一緒に考えます。
p86のワークシートも参考にしてください。

9. 用意する物

学校	【活動AB】ワークシート 【その他】救急セット
文化の森	【活動A】文化の森紹介pp 【その他】救急セット

各学校の授業の進み具合や児童の特性によって、進め方やワークシートを検査します。事前打ち合わせの際にご相談ください。

11. 2025年度実践校一覧 ※アルファベットの学習内容に対応しています。

月	日	日程	学校名	学級数	人数	学習内容
9	11	午前	山之上小	1	10	A:文化の森の職員インタビュー B:施設の工夫みつけ その他:施設見学
9	17 18	午前	太田小	1 2	27 53	A:文化の森の職員インタビュー B:施設の工夫みつけ
10	7 8	午前	古井小	2 2	68 68	A:文化の森の職員インタビュー B:施設の工夫みつけ
10	24	終日	伊深小 三和小	1 1	15 5	A:文化の森の職員インタビュー B:施設の工夫みつけ、その他:たのしいあきいっばい
11	19	終日	下米田小	2	60	A:文化の森の職員インタビュー B:施設の工夫みつけ、その他:森ビンゴ、読み聞かせ
12	2 3	終日	加茂野小	2 2	54 57	A:文化の森の職員インタビュー B:施設の工夫みつけ、その他:森探検、展示室ビンゴ、タワー見学
12	18	午前	蜂屋小	2	52	A:文化の森の職員インタビュー B:施設の工夫みつけ

12. 学習の様子



①施設の工夫みつけ(エレベーター) ②施設の工夫みつけ(総合案内) ③施設の工夫みつけ(おもいやり駐車場)